



からしだねの由来 マタイ 13章 31節、マルコ 4章 30節、ルカ 13章 18節

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

発行・カトリック水巻教会
編集・広報委員会
遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
〒807-0025
TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
第 429 号

ヨセフとマリアを模範に

フランシスコ・アシジ 谷口尚志

あけましておめでとうございます。今年もわたしたちが神のみ旨を世に証するための道具として働くことができますように。

主の降誕を迎えた教会は、主イエスが父ヨセフと母マリアとの家庭で相互に仕え合う時間を通して子どもから大人へと成長されたように、この聖なる家庭に流れる“仕え合う”関係に目を留め、成長していかなければなりません。そのためには、まず、キリスト者にとっての成長とは何かを考えることが大切です。体が大きくなる、思慮深くなる、知識を身につける、技術を身につけるといった「自分自身の選び」の結果によるだけではなく、むしろ、「神の選び（呼びかけ）」、つまり、神の思いを汲み取ろうと努めてきた結果によるところが大きいと考えることができるのがキリスト者だからです。表現を変えるならば、キリスト者にとって、神の呼びかけにどれだけ仕えてきたのかが人としての成長のバロメーターになるということです。このことから、わたしたちが聖なる家庭における二人、ヨセフとマリアを常に自己を成長させるための模範とすべきことが分かります。彼らはまさに神に仕え、相互に仕えた方々だからです。

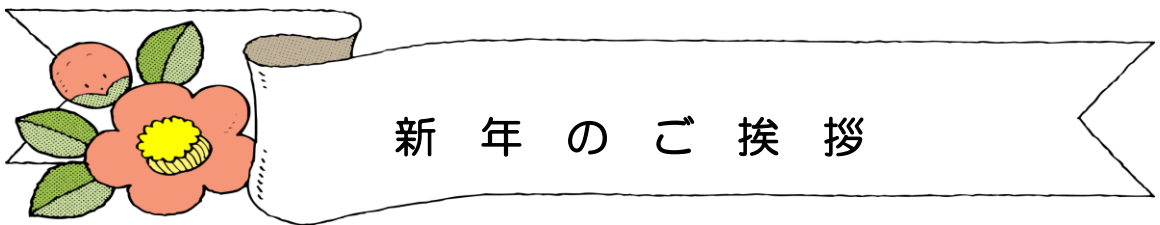
ヨセフはマリアのことを思い、自分の都合ではなく、マリアと胎内に宿った子の命を救おうとしました。それはきっと、彼自身の性格による行動だったのでしょうが、その姿勢は天使のお告げを受けた後の彼の行動にも反映されていきます。つまり、彼は天使の伝えたことば（神からのことば）に躊躇することなく仕え、マリアに与えられた使命と胎内に宿った子がメシアであることを受け入れました（**マタイ 1・18～参照**）。マリアは天使のことばに「わたしは主のはしためです。お言葉どお

新年のご挨拶	2面
外国語ミサの話(3)	3面
教会学校	4面
幼稚園から	5面
ペルーからの手紙	6・7面
ガンバ3	7面
委員会等報告	8・9面
水巻営繕ささえ隊	9面
お知らせ・黙想会報告	10面

り、この身になりますように」と、自らの意志によって神に仕えていることを表明していますし、親類のエリザベトを訪問した際にも神の憐れみが神を畏れる者に世々限りなく及ぶことを宣言しています。また、幼子と出会った人々の様子、神殿におけるイエスご自身からのことばを思い巡らし、心に納めていた姿は仕える姿に他なりません(ルカ 1・26~参照)。

このように、彼らの姿から、人として、キリスト者としての成長には神に仕えること、人に仕えることが欠かせないことが伝わってくるのです。

主イエスが仕え合う両親のもとで成長されることを神が計画されたように、わたしたちも彼らを模範にして成長することができますように。



水巻教会の皆さま、新年明けましておめでとうございます。恵みあふれる聖マリアの執り成しを願い、皆さまの2024年のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。

昨年は本当に多くの方々にあらゆる角度で大変お世話になりました。各委員、各部門、小グループの代表の方、それを支えてくださる方々、心から御礼申し上げます。コロナの制限が緩和され、活動も活発になりました。小教区委員会規約改定、納骨堂管理規約改定と長年改定されなかった規約を見直す事も出来ました。規約改定にご協力して下さった方々にお礼を申し上げます。また「召命を祈る会」も新しく小グループに加わりました。水巻教会には13の小グループがあります。全ての活動は信徒の皆さんの支えで成り立ちます。そして「北九州地区宣教司牧評議会」も昨年より発足されました。去年は主に聖書講座、召命を祈る会、ディエゴ加賀山隼人殉教ミサと他の教会の方々と交流出来る機会も多々あります。宣教司牧方針にもある【出向いて行く教会】。信徒も減少していくなか、他の教会との繋がりもこれからは大切な事だと思えます。全ての活動が良い運営を行う為にも皆さまのご協力の程お願い致します。

昨年同様、水巻教会の皆さまと支え合い、思いやる気持ちを忘れず共に歩めるよう進めていければと思います。信徒の皆さま、今年も宜しくお願い致します。

小教区委員長 上川直子

外国語ミサの話 (3)

岩本光弘

スペイン語ミサには10年以上関わりました。最初は完全にお手伝いでしたが、途中から担当することになり色々なことがあり思い出が沢山あります。

このミサはスペインとの国境が故郷だったラバルタ神父が、スペイン語圏の信徒のためにスペイン語を勉強して始めました。神父のお父さんはスペイン人でフランス側の発電所で働いていたそうです。そのためスペイン語は家や地域でもよく出てくる言葉だったそうで、聞くだけはできたそうなので勉強も簡単だったそうです。

その後、小倉の湯川の修道会にペルー人のシスター・アナマリアが赴任してきました。彼女は楽しい人で、ギターを弾いて聖歌を歌うので楽しいミサになりました。アナマリアは前任地の静岡でもラテンアメリカ出身の人たちのために働いていましたので、九州ネットの会議にも参加しました。私の家まで自分の車で来て、そこから二人で福岡に行っていました。小倉教会の英語ミサにも行ってお世話をしていました。そのため北九州地域の外国人関係の活動を二人で続けることになり、何度も修道院に行って打ち合わせをしました。

この修道会も北九州での活動を終えることになり、静岡県に移動していきました。その後彼女には難民移住移動者委員会や移住連の行事でいつも再会しましたが、いつも「岩本の兄貴！」と遠くから声をかけてやってくるので、私の友人たちは笑っていました。後日、彼女は日本にいるスペイン語圏出身のシスターの代表者になり、今も静岡で働いています。

毎月のミサには福岡のイエズス会修道院からスペイン人の司祭が来てくくれるようになり、皆さんは喜んでいました。主に来ていただいたのはセトアイン神父でした。

あるときNHK テレビで「司馬遼太郎の街道を行く、南蛮への道」という番組がありました。番組スタッフがフランス・スペインの国境を取材していた時、地域のお年寄りが寄ってきて「どこの国からの取材か」と聞きました。日本だと言うと近くの家を指して言いました。

「あそこの家の息子は二人神父になったが、一人は日本にいるよ。セトアインだ」と言いました。テレビを見ていた私はびっくりして、次のスペイン語ミサの時にセトアイン神父に聞いたら「私の実家です」というのです。次の月のスペイン語ミサの後にラバルタ神父がテレビとビデオテープを持ってきて、この番組を見ました。ところが番組の途中から現地の人が話している言葉をスペイン語圏の人たちは分からないようだったので念のために聞いてみたら、バスク語ばかりだったそうで、セトアイン神父以外の人は分からなかったそうです。この時スペイン国内には言葉が違う人たちがいることを初めて知りました。のちに知ったのですが、国境を挟んで北側にフランス・バスク人がいて、南にスペイン・バスク人がいて、聖フランシスコ・ザペリオはスペイン・バスク人でした。

ラバルタ神父が一年間フランスに帰ったときは、毎月天神町教会にミサのお願いに行き、許可をもらってから福岡のセトアイン神父に電話をしてミサをしていました。ラバルタ神父が再来日してから一年後に神父の引退と帰国が決まりスペイン語ミサが終わりました。



教会学校のページ

ご降誕祭の準備と「愛の街頭募金」

教会学校では12月3日ミサ後、ご降誕祭の飾り付けで、クリスマスツリーを準備しました。昨年も飾り付けを手伝っていたので比較的短時間で終わりました。

12月17日には聖堂後方で信者の皆さん対象に募金活動を行いました。そのあと3班に分かれてマックスバリュで「愛の街頭募金」を行いました。直方教会からも子ども達、大人の方も多数参加していただき、寒かったですが、楽しく募金活動ができました。直方教会の皆さん、ありがとうございました。



←12月3日、ベトナムの青年たちが馬小屋を作ってくれました。



水巻聖母幼稚園 マリア子どもの家 1月のお知らせ

いつも皆様のお祈りとお支えいただき感謝申し上げます。

〈水巻聖母幼稚園〉

先日は子ども達が楽しみにしていた、クリスマス生活発表会でした。自分でなりたい役を選び、自分達で動きや言葉を考えながらの発表会でした。毎日の練習に楽しんで取り組むことができました。保護者の方々に見守られる中、緊張もありましたが、堂々とした発表になりました。

園庭や教会は馬小屋やイルミネーションで飾られ、待降節の間子ども達はイエス様に『心のプレゼント』を用意しています。「お友達にやさしくする心・新しいことに挑戦すること・世界中の人のためにお祈りすること」と、子ども達がイエス様にどんなことをプレゼントしたいか考えました。心のプレゼントがイエス様に届きますように。



水巻聖母幼稚園 TEL : 093 201 9559
e-mail : coutactus@mizumakiseibo.ed.jp

〈マリア子どもの家〉



『待降節の集い』がありました。神父様が、大きな4本のろうそくを持って、マリア子どもの家に来てくださいました。マッチで火をつけると、キラキラと美しい光が輝きました！4本のろうそくの意味や、クリスマスを優しい心で待ち望みましょう、などのお話がありました。



プレゼントをもらうだけのクリスマスではなく、クリスマスの特別な意味を感じられたでしょうか？

10月に種を蒔いた大根の葉が茂ってきました。大きな大根になってほしいので、子ども達と間引きを3回しました。「大根さん、寒さに負けず大きくなってくださいネ！」

TEL : 050 5212 7759

HP : 水巻町マリア子どもの家
水巻聖母幼稚園・マリア子どもの家

園長 水口 由美
教職員 一同

水巻教会レプトン会の皆さま

待降節に入ったと思っているうちに、もう2本のローソクがともりました。主を迎える準備に励む日々をお過ごしのことと拝察いたします。

寒さが増してきた日本だと思えます。こちらペルー、リマは暦の上では夏が訪れているのに、朝晩は上着を羽織らなければならないほど、肌寒い日々を過ごしています。世界の緊迫した情勢の中で、平和の主心に心から世界の平和を祈らずにはられません。

さて、マリア・タキ保育園についてご報告いたします。

今年は、3歳、4歳、5歳児を合わせて60名の子どもたちが保育園に通っています。今年に入って、パンデミックの問題はなくなりましたが、気候変動の状況と一部の家庭では仕事がないことから日々の糧にも困る状態が続き、地域の環境の悪さにも影響を受けて、数人の子供たちが肺炎を患いました。栄養不足から貧血の問題を抱えている子供もいます。

園児60人のうち、通常の保育料を払えるのは約3分の2の家族で、保育料を満足に払えない事情を抱えた家族には、減額の措置を取っています。砂漠の山に住んで定職に就いていない家族や、シングルマザーの家庭の子たちはとても貧しく、生きていくために毎日仕事を探しています。そのような家庭の子供たちは朝食をしないで保育園にやってきました。子どもたちは通常、果物やお菓子のおやつを持ってくるのですが、何も持ってくることができず、お腹を空かせた状態の子供たちもいます。このような子どもたちへの子ども食堂の給食サービスはどんなに助けとなっていることでしょう。

皆様の寛大な寄付に支えられて、これまでたくさんの子供たちの笑顔を見ることができています。心より感謝いたします。

皆様の上に神様の平和と喜びが豊かにあることを、感謝のうちに祈っています。

2023年12月8日

イエスのカリタス修道女会
リマの聖女ローザ準管区 ペルー共同体
文責：シスターマリー中村英子

マリア・タキ保育園の様子を写真でお見せいたします。

ペルー独立記念日に保育園の周りを衣装を着けて行進しました。



この少女とその弟は非常に貧しい家庭に育っており、度々朝食をしないで園にやってきます。そのため、園で活動するための力がなく、たいてい悲しい表情をして、やる気ありません。



「納骨堂管理の部」

納骨堂管理の部の主な活動

- ①納骨堂利用者集会の開催
- ②納骨堂管理費のチェック
- ③納骨関係書類の管理
- ④納骨式の準備
- ⑤お盆時期の納骨堂の開放など

7月30日にコロナ禍で中止になっていた納骨堂利用者集会を4年振りに開催できました。

そして11月19日には懸案事項であった規約改定の報告をすることができました。これもひとえに皆様のご協力のおかげです。ありがとうございました。

納骨堂管理の活動をしてよかったと思うことは、たくさんの家族の方と深く関わりあえたことです。これからも家族の皆様とのつながりを大切に活動していきたいと思えます。よろしく願いいたします。

大原 愛子

委員会等報告

2023年12月分

12月度小教区委員会 12月5日

1. 行事予定

- ・1月1日(月)〈神の母聖マリア〉
9時30分～ミサ。ミサ後～車の祝別
- ・1月2日(火) 15時～ベトナム語ミサ
- ・1月7日(日) ミサ後、クリスマス飾り
つけの片付け
- ・1月14日(日) 11時～ミサ(アベイヤ司
教様公式訪問日、初聖体式)ミサ後～茶話会
- ・1月21日(日) 小教区委員会
- ・1月28日(日) 9時～ミサ
ミサ後～教会学校、こころの会

2. 議題

(1)各専門委員会および代表委員(営繕、
納骨堂、冠婚葬祭)、北九州地区宣教司牧研
議委員より

①広報委員会

- ・12月度は3週目の12月17日(日)に
「からしだね」の編集作業を行い、
12/24(日)に配布する。「からしだね」の配
布時にはチェック表への受け取りサインを
徹底するように促す(名簿の整理、更新も兼
ねて)

②典礼委員会

- ・11月23日(木)に典礼委員会を開き、小
冊子の作成やクリスマスの典礼についての
確認をした(共同祈願は5つで、役員会、
子どもたち、ベトナム人青年たちに、レプ
トン会、ふれあい会に依頼することとなっ
た)が、ミサ前のロザリオや、来年2月に始
まる四旬節の準備のこともあるため、12月
17日(日)18時より再度開くこととする。

③総務委員会

- ・特になし

④財務委員会

- ・特になし

⑤営繕の部

- ・朗読台へ上がるための踏み台を製作した
(待降節時分、内陣へ上がる階段の使用がで
きないため)。
- ・外ベンチの増設を考えており、既存のもの
は園が準備して下さったため、まずは園に問
い合わせてみる。

- ・営繕の部の活動に興味を持って一緒に作
業をしていただく人を増やすため、現在、
Line グループを作っている。グループ名は
「水巻営繕ささえ隊」。加入希望者は岡部成
敏まで。

⑥納骨堂管理の部

- ・新しい納骨堂管理規約が出来上り、説明会
を行った。誰の目にも触れられるように新し
い規約を納骨堂の入り口に掲示しておくこ
とにする。

⑦冠婚葬祭の部

- ・11月12日(日)、小倉教会で行われた結
婚式に同席して、水巻とそこまで変わらない
式だったと感じた。
- ・先日、家族葬のかたちで通夜と葬儀を教会
で行ったが、故人と同じ地区の方に呼びかけ
て手伝っていただいた。今後も手伝えること
があればという声を聞かせてもらったので、
今後も、故人の属する地区から奉仕して下さ
る方を募りたいと思う。

⑧北九州地区宣教司牧評議会

・地区聖書講座の全4回が終了。今後も地区宣教司牧評議会の行事に積極的に参加をお願いしたい。

(2) ミサ時間の変更について

・1月7日(日)から直方教会とともに主日のミサ開始時間を調整。水巻→9時～、直方→11時～。但し、小教区委員会(水巻)が行われる日曜日は、直方→9時～、水巻→11時～。※1月14日(日)は11時～(司教様の公式訪問日のため)。1月21日(日)も11時～(小教区委員会があるため)。

(3) 街頭募金について

・12月17日(日)10時45分頃から、マックスバリュ(水巻店)店舗入り口にて3グループ交代制①、10:45～赤間・海老津・芦屋・遠賀。②、11:15～折尾、高須青葉。③、12:15～梅ノ木、吉田、中間)で行う。なお、今年もクリスマスのミサと募金活動の

意義について掲載した案内状を作成し、配布する。

・今回の募金先はNPO法人「聖地のこどもを支える会」とする。

(4) 12月24日(日)に行われるクリスマスパーティーの準備、および進め方について

・流れとしては10時半～準備、11時半～食前の祈り、パーティー開始、13時半には食後の祈りをし、片付けを行うようにする。

(5) その他

・冬場になり、寒くなってきたため、当面はふれあい会を信徒会館内部で行う(土足で上れるようにブルーシートを敷く)。

・週報に載せてある「ご聖体を望まれる方…」を「からしだね」に載せるようにし、同時に、教会の各種手続きや案内についても「からしだね」と共に配布してはどうか(特に<臨終の際の対応>、<病者の塗油>など)。



水巻営繕ささえ隊

こんにちは。私、水巻教会 総務直轄 営繕部 岡部です。

先月号のからしだねで「ライングループ水巻営繕ささえ隊参加のお願い」を大々的に掲載していただきましたところ、現在、20名ほどが参加しています。既読が何人もあり見られているという事は、活動への応援ということで頑張れます。が、そこで大事なことは、皆さんの声の参加です。何が不便で、何が危なくて、何処が片付いていなくて、何がどこにあって、どうなっているの?なぞなぞみたいに言いましたが、あみだくじの様に解決していきたいと思います。ライングループへの参加のお願いは、先に申しあげましたように、見るだけ、知るだけ、気づいたことを提案する、それだけでも良いです。ラインをしたことが無い人も、スマホを持っていれば、即参加できます。仕方を教えたり、習ったりの師弟関係も和気あいの雰囲気造りの、助けになったりするかも?その上で各に出来ることがあれば、一緒に働いてもらいたいです。教会の良い環境が、良い雰囲気が、ミサや祈りという信仰生活の良い支えとなると思います。

1月のおしらせ

★神の母聖マリアのミサ★

日 時：1月1日(月)

午前9時30分～

ミサ後に、車の祝別があります。

また、普段のミサ後と同じような、ふれあひ会の方々による茶話会もあります。

★馬小屋・イルミネーションの片付★

日 時：1月7日(日) ミサ後

ミサ後に馬小屋やクリスマスイルミネーションの片付をします。手伝いができる方はよろしくお願ひします。

★街頭募金★

12月17日 街頭募金(水巻・直方合同)
教会内の募金とマックスバリュでの募金、直方教会、ベトナム青年会の皆様による募金合わせて

合計 137,929円

集まったお金は、認定 NPO 法人「聖地のこどもを支える会」に送金しました。

★アバイヤ司教様公式訪問・初聖体式★

日 時：1月14日(日) 午前11時～

ミサ後に、司教様を囲んで茶話会があります。

★ゆるしの秘跡・聖体を望まれる方へ★

ご高齢や病気によってミサに預かれない方に聖体を届けることやゆるしの秘跡を受けること、病者の塗油を受けることができます。主任司祭に事前に電話をかけて、お伝えください。

★特別献金★

12月3日 宣教地召命促進の日献金
24,270円

ご協力ありがとうございました。

★ミサの時間が変わります★

1月 7日(日) 午前9時～

1月 14日(日) 午前11時～

1月 21日(日) 午前11時～

1月 28日(日) 午前9時～

2月 4日(日) 午前9時～

日によってミサの時間が違います。カレンダーにも載せていますので、間違えないように、気を付けてください。



12月9日、10日の2日間、笹丘教会の桑原篤史助任司祭による黙想会が開かれました。テーマは初日が「従順—救い主キリストへの道—」、二日目が「クリスマスの意味」でした。

